

令和5年8月31日

令和5年度公表情報

学校法人みどり学園
理事長 平尾 達夫

2. 修学上の情報等

(1) 教員組織、各教員が有する学位及び業績

教員組織は、次の表のとおりです。

役 職	氏 名	担当科目
学 長	眞鍋 穰（教授）	こころとからだのしくみ（総論）
学長代理	余村 望（教授）	社会福祉論
介護福祉学科学科長	鴻上 圭太（教授）	介護過程概論
介護福祉学科教務主任	永原 直子（教授）	発達心理学
子ども福祉学科学科長	代田 盛一郎（教授）	子どもと遊び
子ども福祉学科教務主任	高砂 朋子（准教授）	保育内容（総論）
保育・幼児教育学科長	加藤 友彦（准教授）	子どもの造形表現
保育・幼児教育学科教務主任	堅田 弘行（講師）	保育心理学演習
地域総合介護福祉学科長	堅田 知佐（教授）	地域における福祉専門職の役割

(2) 入学者に対する受入方針、入学者数、収容定員、在学者数、卒業（修了）者数、進学者数、就職者数

大阪健康福祉短期大学のアドミッション・ポリシー（本学の受け入れ方針）、入学者数等は次のとおりです。

1 アドミッション・ポリシー（本学の受け入れ方針）

【介護福祉学科】

本学科は、介護や社会福祉に関する学問を修め、介護福祉士国家資格の取得を目指す学科です。それらを鑑み、以下にアドミッション・ポリシーを示します。

1. 「介護」や「福祉」について自ら考えようとする人
2. 社会の成り立ちや自らの生活について、興味をもっている人
3. 自ら進んで学ぶ意欲がある人
4. 人間に興味をもっていて、他者とのかかわることができる人
5. 日常生活において他者に情報伝達したり、他者からの情報を受け取る能力を有している人

高校の授業や課外(クラブ)活動等の中で、自分なりに意欲・関心がもてるものに取り組み、アドミッション・ポリシーで掲げている各学力を身につけてきた学生を求めています。また、入学後も同様に、自ら意欲・関心がもてるものを見つけ、さらに学力を伸ばそうとする学生を

求めています。

入学選抜においては面接を重視し、対話を通じて、アドミッション・ポリシーで示している各学力の評価を行います。また、受験の形態に応じて、面接とともに小論文や現代国語の試験も実施し、多角的に評価を行います。その中で、受験者自身のこれまでの体験や、そこから得られた学びの有無、自らの考えの在り方を評価します。なお、本学入学にあたっては、事前に、インタビューを通じて高齢者や障がい者の暮らしを学ぶことを求めています。

【子ども福祉学科】

本学科では、保育士資格・幼稚園教諭二級免許状の取得を目指します。本学の教育理念を理解し、学修を通して以下の目標を達成しようとする意欲のある学生を求めています。

1. 子どもが好き、人間が好きで、いろいろな人とかかわりたい
2. 誰かのために、自分を生かしたい。あてにされる自分を発見したい
3. 人間のくらしや社会に関心があり、さらに理解を深めたい
4. いろいろな人と力を合わせて、子どもと一緒に自分も成長したい

上記の目標に向かい、入学前の自分の生活や経験について振り返り、他者にそのことを伝える努力ができる学生を求めています。また、入学予定者には入学前教育に参加し、学修の準備を行うことを求めます。さらに入学後には、目標達成のための努力を惜しまない学生を求めます。

入学選抜においては、自分の経験を振り返り、そこでの学びを伝える力について面接を中心に評価を行います。受験形態によっては小論文・現代国語も実施し、多様な学生の受け入れを目指します。

【保育・幼児教育学科】

本学科では、保育士資格・幼稚園教諭二級免許状の取得を目指します。本学の教育理念を理解し、学修を通して以下の目標を達成しようとする意欲のある学生を求めています。

1. 子どもが好き、人間が好きで、いろいろな人とかかわりたい
2. 誰かのために、自分を生かしたい。あてにされる自分を発見したい
3. 人間のくらしや社会に関心があり、さらに理解を深めたい
4. いろいろな人と力を合わせて、子どもと一緒に自分も成長したい

上記の目標に向かい、入学前の自分の生活や経験について振り返り、他者にそのことを伝える努力ができる学生を求めています。また、入学予定者には入学前教育に参加し、学修の準備を行うことを求めます。さらに入学後には、目標達成のための努力を惜しまない学生を求めます。

入学選抜においては、自分の経験を振り返り、そこでの学びを伝える力について面接を中心に評価を行います。受験形態によっては小論文・現代国語も実施し、多様な学生の受け入れを目指します。

【地域総合介護福祉学科】

1. 「介護」や「福祉」について自ら考えようとする人
2. 社会の成り立ちや自らの生活について、興味をもっている人
3. 自ら進んで学ぶ意欲のある人
4. 人間に興味をもっていて、他者とかかわることができる人
5. 日常生活において他者に情報伝達したり、他者からの情報を受け取る能力を有している人

高校の授業や課外（クラブ）活動等の中で、自分なりに意欲・関心がもてるものに取り組み、アドミッション・ポリシーで掲げている学生を求めています。また、入学後も同様に、自ら意欲・関心がもてるテーマを見つけ、介護福祉に対する探究心を持ち、介護福祉分野の未来を創造していく意欲のある学生を求めています。

入学者選抜においては、高等学校での学習や課外活動を通して身に付けた「知識・技能」、それを基礎とした「思考力、判断力、表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」と、介護福祉を学ぶことに対する意欲について総合的に評価します。

2 入学者数、収容定員、在学者数、卒業者数、進学者数、就職者数

2023年度の実績は次の表のとおりです。

（「学校基本調査」入学者数・収容定員・在学者数は2023年5月1日現在）

学科名	詳細区分	2023年度
介護福祉学科	入学者数	13
	収容定員	30
	在学者数	29
	卒業者数	14
	進学者数	1
	就職者数	12
子ども福祉学科	入学者数	34
	収容定員	100
	在学者数	83
	卒業者数	45
	進学者数	1
	就職者数	43

保育・幼児教育学科	入学者数	42
	収容定員	80
	在学者数	84
	卒業者数	34
	進学者数	0
	就職者数	34
地域総合介護福祉学科	入学者数	7
	収容定員	30
	在学者数	12
	卒業者数	6
	進学者数	0
	就職者数	5

(3) 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画(シラバス又は年間授業計画の概要)別項「講義概要」のとおりです。

(4) 学修の成果に係わる評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準(必修・選択・自由科目別の必要単位修得数及び取得可能学位)

別項「授業科目履修規程」のとおりです。

(5) 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

① 修学に係る支援

学生の修学については、次のような体制を組んで、一人の学生を二重にサポートしています。

1) クラス制を取り、それぞれのクラスにアドバイザーを配置して、学習面と生活面の指導をしています。

2) さらに 15～20 人前後の少人数編成でゼミを編成して、ゼミ指導教員を配置して、学生のサポートにあたっています。

このようにアドバイザーとゼミ指導教員が情報交換しながら、一人ひとりの学生の状況を的確に把握し指導しています。

② 進路選択に係る支援

進路選択については、キャリア支援センターを設置し、進路指導担当職員が情報の収集、進学・就職に関する指導や支援を行っています。また、ゼミ指導教員も個別指導にあたっています。就職に関しては求人件数が多く、ほとんどの学生が卒業までに就職を決めています。進学に関しては、多数の 4 年制大学から指定校の枠を与えられているので、3 年次編入試験を受験して進学できます。

③ 健康管理に係る支援

本学の各学科は実習が必修科目なので、実習に向けて全員が集団検診を受けて、健康管理には万全を期しています。また、「はしか」についての受診調査は全員対象に行い、インフルエンザ等の流行に対しては大学独自の対策を立てて、集団感染の防止に努めています。

④ 学生相談について

学生の相談については、学生支援室を設け、カウンセラーを配置し、いつでも相談に応じられる体制をとっています。また、学生が気軽に利用できるように、企画イベント『性格診断チェック』なども実施しています。

(6) 教育上の目的に応じた学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

別項「学科紹介」のとおりです。